

令和7年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C	
I 提案の履行状況に関する項目 平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	①施設の設置目的に沿った運営 (1)施設の設置目的及び管理運営方針 ②提案した管理運営方針に沿った管理 ③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	<p>①体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下、「当施設」）の目的に沿った管理運営を実践。</p> <p>利用者サービスの向上や経費の節減を図り、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行っている。また、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を実践。</p> <p>利用者に安全と安心の施設提供を行い、長期改修工事により利用可能エリアは限定されているが、同エリア比較では<u>利用者増</u>にもつながった。</p> <p>②施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ教室 講座数：23 新たにピラティス教室を開講 ●文化教室 講座数：1 ●近隣 2市と連携したプール利用補助券の販売実施。 ●令和7年4月～6月実績 <ul style="list-style-type: none"> ・門真市 利用者数：■人、前年差：■人 ・大東市 利用者数：■人、前年差：■人 ・長期改修工事によりメインプールは使用できず、サブプールも3か月間の利用に限定された。そのため競技会等もサブプールで実施をするため、<u>一般開放日も限定</u>されたが、利用補助券にて<u>3か月間で3,059人</u>にご利用いただいた。 ●職員の一般知識及び専門知識向上のため各種研修を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度：4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、9月9日：集団安全研修および緊急対応訓練（8月は休館なしのため、個人や小さな集団にてCPRの訓練を実施）。 ・令和7年9月9日：消防避難訓練 消防署職員立ち合いにて実施。消防職員4名にて訓練の様子をチェックいただいた。119番通報では「A」の最高評価もいただき、全体としても「高いレベルでの訓練が実施できている」とお褒めの言葉をいただいた。また、水消火器による消火訓練も実施。 <p>③地元学生の職場体験受入れを計画。長期工事期間中ではあるが、<u>2校の実施を予定</u>し、打ち合わせを進めている。社会勉強の一助となるように、今後も継続して協力を行う。</p> <p>日々の光熱水量を確認し、職員の目につくところに省エネの掲示を行い、利用者への協力も呼びかけ、省エネの意識が向上した。</p> <p>本社専門担当による内部監査を実施し、個人情報の取り扱いや法令順守を徹底。特に個人情報の管理は、プライバシーマークを取得していることもあり、厳しい視点での管理を実施している。個人情報紛失等の事故も0件である。</p>	A	<p>①条例の設置目的に従って「体育・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を提供できるよう、適切な管理運営ができる。令和7年度は大規模工事によりメインアリーナやサブプールが例年どおり利用できない状況となっているが、空きスペースを活用し利用者のニーズに合わせた施設の活用、運営ができる。</p> <p>②施設の特性を生かした自主事業を実施することができる。また、新たにピラティス教室を開講し府民のスポーツ振興に貢献できている。プール利用補助券については、昨年度に引き続き販売を行っており、利用者数及び売上金額も増加している。研修についても様々な研修を実施することができており、職員の資質向上を図ることができている。</p> <p>③昨年度に引き続き地元学生の職場体験を受入れており、社会貢献活動に寄与することができている。内部監査では指摘等もなく、個人情報の取扱いをはじめ、法令順守の取組みがなされている。</p>	A			A
	①公平なサービス提供、対応状況 (2)平等な利用を図るための具体的な手法・効果 ②高齢者、障がい者等に対する配慮 ③感染拡大防止対策の徹底	<p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を実施。</p> <p>無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。</p> <p>②<高齢者への利用配慮></p> <p>健康運動指導士5人および日本赤十字社救急法救急員を配置。トレーニングルームやプールにおいて、高齢者が利用しやすい環境を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の維持、向上に効果的な健康教室（iトレ）を実施。一例として、歩行の際には手押し車を使用しての87歳の女性参加者が、「<u>手押し車を使用せずに歩行ができるようになった</u>」と喜びの声をいただいている。 <p><障がい者への利用配慮></p> <p>障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。パラスポーツ指導員を3名、パラスポーツコーチ、介護予防運動指導員を配置。貸出し用の車椅子を4台設置。館内に「特別な配慮をご希望の方はスタッフまでお声かけください」の案内を設置し、合理的な配慮に向けた取り組みを強化した。</p> <p>その結果、<u>減免対象者の利用増</u>にも繋がっている</p> <p>令和7年上期（4月～9月）減免対応利用者実績 ・トレーニングルーム：<u>6,337人</u>（前年+109人）</p> <p>③5類感染症へ移行後も<u>出入口には消毒液を常設</u>し、感染防止対策を継続している。ストレッチマットやロッカー等、定期的な備品消毒も行って、より安心な施設提供を行っている。新型コロナウイルス発生当初から、これまででもクラスターを発生させることはなく、運営を継続している。</p>	A	<p>①誰もが無料で参加できるプログラムを複数実施しており、参加者も多く、競技の能力向上を図ることができている。</p> <p>②健康運動指導士やパラスポーツ指導員を複数名配置することにより、高齢者や障がい者が安全に利用できるよう配慮されており、減免対応利用者実績が上半期のみでも大幅に増加している。また、高齢者向けに効果的な教室を実施し、利用者満足に繋げられている。</p> <p>③施設職員や利用者が普段使用する場所の消毒等、感染拡大防止のための取組みを実施することができており、クラスターの発生もなく運営ができている。</p>	A			A

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C	
施設の効用を最大限發揮するための方策	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ③利用者の増加を図るための具体的手法・効果 ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 ※メインアリーナ及びサブプール除く 令和6年度実績：157,435人 (内、上期実績：78,423人) 令和7年度見込：152,850人 (内、上期実績：75,941人)	①月間行事案内を発行し、要所への設置と関係各所への送付を実施。近隣の自治会にも働きかけ、身近な施設としてPRを重ねた。 キッチンカーを設置することで、利用者や地域の方にもご利用いただき、施設の賑わいづくりにも努めた。トレーニングルームでの紹介イベントや体組成計を使用したイベントを実施し、利用者増と運動継続への意識づけを行った。 ②令和7年度上期実績 <u>※メインアリーナ及びサブプール除く</u> 利用者数：75,941人 ⇒ 前年 -2,482人 ⇒ 前年同期比：96.8% ・大規模修繕工事の影響が比較的少ないトレーニングルームとサブフロアの利用者数については、前年度と比較して 2,205人増加 しており、新規自主事業の開設や利用者への周知などの利用者増加のための取り組みの効果がでている。 令和6年度上期 68,040人 令和7年度上期 70,245人 ⇒ 前年 2,205人 ⇒ 前年同期比：103.2%	A	①月間行事案内等を通じて、幅広くイベント等のPRを実施することができている。また、主催者と協力し、大きなイベントや大会ではキッチンカーを誘致するなど賑わい作りに努めている。またトレーニングルームや空きスペースでイベントを行うことで新たな利用者の確保にもつながっている。	A		A	
	④サービスの向上を図るための具体的手法・効果 ①提案のあったサービス向上策の取組み ②自主事業の取組み ③施設設備、機能の活用	①新たに65インチの大型デジタルサイネージを設置し、計3台でのタイムリーな情報発信を行った。デジタルサイネージの大型化により、「配慮が必要な方」への取り組みにもつなげた。 受付では筆談可能な案内も掲示し、その他、配慮が必要な方への案内も掲示している。 ②自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施。利用者のニーズに合わせ、 <u>ピラティス教室の新規開設</u> も行った。 人気の高いリトモスは3か月に1回のペースでイベントも開催し、毎回ほぼ定員の集客状況となっている。 近隣幼稚園の水泳指導を受託し、 <u>着衣水泳</u> も実施。 ③複合施設として様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。 プール可動床を活用し、水球団体との連携をはじめ、アーティスティックスイミング日本代表チームのサポートをしている。 プールの <u>工事期間中は空きスペースを活用し、トレーニング利用</u> をいただいている。	A	①有資格者を配置することにより高齢者や障がい者が利用しやすい施設となるよう努めることができている。また、大型デジタルサイネージを新設し、施設情報をタイムリーに発信することで利用者満足度の向上にもつながっている。 ②昨年度に引き続き、スポーツ教室及び文化教室を実施し、イベント等の開催により参加者の増加にも努めることができている。また、利用者のニーズに合わせ新たにピラティス教室を開設するなど新たな取り組みを行っている。 ③大規模工事によりメインアリーナ及びサブプールの利用は不可となっていたため、サブアリーナやトレーニングルーム、空きスペースを活用し、各施設の用途に沿った大会やイベント等を行うことができている。	A		A	
I 提案の履行状況に関する項目	⑤施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 ③緊急時の危機管理体制	①施設設備の効果的な維持管理 ②施設設備の安全管理 ③緊急時の危機管理体制	①仕様書に則った設備維持管理を行い、大阪府様へのタイムリーな報告も実施している。異変を発見した場合は、早急に対応を行った。また、適宜大阪府様への報告も行っている。 ・長期工事期間を活用し、老朽化した <u>メインアリーナ観覧席の座面（約4,000席）</u> をスタッフで修理。業者に委託することなく、生地を購入して張り付け、利用者満足度の向上に努めた。 ②職員間で不具合箇所の情報を共有し、リストの作成と活用により効率良く改善を実施している。 ③危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。年間を通じて定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に行い緊急時対応の技術を維持する。消防避難訓練は、消防職員立ち合いの下で実施し、高い評価もいただいた。 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者や従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるように訓練を実施している。昨年度に引き続き、 <u>大阪880万人訓練</u> の実施を計画して進めている。 安否確認システムを採用しており、職員の安否確認も実施し、万事に備えている。	A	①施設修繕会議を定期的に実施し、設備の現状等について共有のうえ、維持管理について協議し対応することができている。 ②施設設備等に不具合が発生した際の対処や管理体制が整備されており、府民等から不具合の連絡があった際には、即日対応を行うことができている。 ③緊急対応訓練や消防立会いのもと消防訓練を実施することで災害等に対する意識を高めることができている。また、プール繁忙期を前にプール安全研修を実施する等、危機管理体制の向上を図ることができている。	A		A
	⑥収入確保策の実施 ②提案どおり実施されているか。	①広告収入等の収入確保策の取組み ②提案どおり実施されているか。	①近隣の医療機関と連携し、壁面広告掲載の新規獲得につなげ、120,960円の収入を得た。車の撮影やキッチンカー、空きスペースの積極的活用により、収入確保に努めている。 ②横断幕や動きのあるのぼりを併用し、訴求効果をアップさせている。福利厚生会への広告掲載と電子チケットの発行を依頼し、利用者増を図っている。	A	①壁面広告の新規獲得や施設の空きスペースを活用するなど収入確保に取組めている。 ②横断幕やのぼりを設置し、集客に努めることができている。また、新規広告掲載や電子チケットの発行など新たな取り組みにより利用者増に努めている。	A		A

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C	
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	<p>①府、公益事業協力等の取組み</p> <p>②行政の福祉化の取組み</p> <p>③市民・NPOとの協働の取組み</p> <p>④環境問題への取組み</p>	<p>①アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。 府各部局からの啓発掲示物、府催事広告の掲示協力。 門真警察の防犯啓発ポスター掲示協力。 守口門真市消防組合組消防本部の防火啓発ポスターの掲示協力。 まいど子でもカード、アクティブシニアパートナー利用料金割引実施。 大阪・関西万博のチラシやのぼりを設置し、P.R活動への協力を行った。 大阪府主導の大型長期工事については、繰り返しの打ち合わせと会場の提供を実施している。 その他、こども家庭庁・内閣府・厚生労働省・大阪府防犯協会連合会・認定NPO法人プールボランティア等への協力。</p> <p>まいど子でもカードにて、3か月間で13人に利用いただいた。</p> <p>②地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。 共同事業体各社 障がい者の実雇用率 <令和7年4月1日現在> ・株式会社COSPAウエルネス：2.84% ・関電ファシリティーズ株式会社：2.34% ・株式会社パティネレジャー：3.13%</p> <p>平成30年より、パラリンピックの出場を目指すパラスポーツ競技者1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。 全国障害者スポーツ大会には、3年連続で大阪府代表として出場することが決まっている。</p> <p>③職場体験の受け入れや幼稚園との協働による水泳指導を実施。福祉関連団体やボランティア団体との連携も行い、スムーズな施設利用に向けて双方で協働を行った。 福祉団体には準備や後片付けを含めて積極的な協力を心掛け、その結果として、繰り返しのご利用をいただいている。</p> <p>④SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識し、雨水や井戸水の利用、コピー用紙の削減や省エネによる環境保全に努めた。COSPAウエルネスの費用にて、井戸水設備を設置し、雑用水として使用。 メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。 老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。 外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 COSPAウエルネスの費用で空調機制御インバーターを導入しており、24時間必要に応じた制御を実施。 コピー用紙は裏紙の使用やページ集約機能を活用し、使用量の削減を実施。 植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 無線を利用した電気ON/OFFのタイムリーな連絡体制をつくり、クローズ作業のスピード化を図るためのタイムトライアルやスタッフのマルチ化等を推進し、省エネ環境を日々高めている。</p>	A	<p>①府福祉部施策である「まいど子でもカード」及び「アクティブシニアパートナー」をはじめ、多くの大阪府施策に積極的に協力している。</p> <p>②C-STEPへの加入や知的障がい者の雇用に取組んでおり、(株)COSPAウエルネスにおいては、障がい者の実雇用率が昨年度より上昇している。また、従業員の中からパラリンピック選手を輩出し、継続してサポートしている。</p> <p>③門真市内の職場体験の受け入れや幼稚園への水泳指導など、各団体と協働し、施設利用前に情報共有を行うことでスムーズに施設利用できるように対応ができる。</p> <p>④SDGsの17ゴールを意識した取組みを実施できており、気候や利用状況に応じた取組みにて、節電・節水に努めている。また、コピー用紙の裏紙を使用する等、紙の使用削減にも努めている。</p> <p>【参考（SDGsの17ゴールについて）】</p> <p>6：安全な水とトイレを世界中に 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12：つくる責任つかう責任 13：気候変動に具体的な対策を 15：陸の豊かさを守ろう</p>	A		A
	I 総括	7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		A	

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。（令和6度配布実績 配布数474通 「総合的な満足度」の回答では、大変満足：69.7%・満足：30.3%の結果となり、 <u>満足以上の回答が100%を占めた。</u> 「スタッフの接遇や対応」の質問では、満足以上が100%を占める結果であり、ご満足いただけている。 ②結果は職員へ共有し、緊急性や影響度を考慮して、即日改善や計画的な改善を行っている。	A	①アンケート結果について、「大変満足」及び「満足」の回答が「100%」となっており、昨年度同様非常に良い結果となっている。 ②利用者からの意見・要望を受け、緊急性等を考慮し隨時実施している。	A	A
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み ※メインアリーナ及びサブプール除く 〔指標1〕自主事業参加者数 R6 実績：2,252人、上半期実績：1,059人 R7 見込：2,820人、上半期実績：1,324人 前年+265人 〔指標2〕自主事業収入状況 R6 実績：7,728,820円、上半期実績：4,368,320円 R7 見込：7,769,500円、上半期実績：4,390,330円 前年+22,010円	①利用者のニーズにより、ピラティス教室を新たに開講。バスケットボールのシュート練習会も始め、延べ210名にご参加いただいた。 プライベートスイムは工事により4月から6月までの実施に限定されたが、利用者からは工事終了後の再開を希望される声が多く、大変ご好評をいただいた。 体操教室等、比較的高単価の教室に参加されていた方が、プールの休館もあり未継続となった。下期はスケート教室が始まり、昨年度よりも実施期間が長いため、全体としての年度目標も達成見込。	S	①利用者のニーズに合わせ、新規教室を開講し、利用者満足度の向上や利用人数増加に努めている。大規模改修工事の影響で水泳教室とセットで通っていた方など高単価の教室の継続者が減少したものの、メインアリーナとサブプールを除いた自主事業参加者数は昨年度より増加しており、自主事業収入も前年にと比較し増加している。	S	S
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①主催者と協力して <u>キッチンカーを出店</u> し、地域の方にもご利用いただき、施設へ足を運ぶきっかけづくりにも努めた。 ・栄養素セミナーを無料で実施。7名の方にご参加いただき、評価も高いため、次なるテーマで実施予定。 ・ホームページから当館宛のお問い合わせやご意見を送れるように設定し、職員への共有によりサービス向上に努めている。 ・現ホームページはスマートフォンでの表示には適していないため、 <u>新たなホームページの立ち上げ</u> を計画し、進めている。 ・来場者が多数見込まれる日は、主催者・タイムズ24とも連携を取り、 <u>事前精算機にて精算後の出庫可能時間を延長</u> する等、入出庫の時間短縮に努めた。イベントによっては出庫に2時間以上を要することもあり、1時間程度の時間短縮を実現している。	A	①主催者と協力してキッチンカーを出店するなど地域の賑わい作りに努めている。また、無料栄養素セミナーやホームページ新設など新たな取り組みを実施している。	A	A
II 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）	A	A

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設所管課の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	評価 S～C
III 適正な管理業務の遂行を図ることができることとが能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R7収支計算書 ・収入 事業計画書：453,510千円 見込：453,780千円 ・支出 事業計画書：453,510千円 見込：460,482千円 ・納付金 事業計画書：0千円、見込：0千円	①事業収支見込 ■総収入事業計画書比：100.1% ■総支出事業計画書比：101.5% 収入については達成見込であるが、最低賃金の高騰や物価高により、支出は若干の未達見込。 【ご参考】令和7年度上期実績 ■総収入：231,996,288円 ■総支出：222,735,661円 ■損益：9,260,627円 8月に長期改修工事の補填金を一括計上しているため、上期の損益はプラスとなつた。	B	物価高騰等の影響により支出は若干の未達見込みであるが、収入見込みは達成見込みである。	B	B
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①各部署に人員配置を行い管理運営を行う（常勤：週30時間以上）。 管理運営業務 常勤14人、非常勤56人 施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤8人 ・警備保安業務 常勤4人、非常勤2人 ・清掃業務 常勤3人、非常勤13人 ②総括責任及び管理運営業務（スケート管理運営業務除く） → 株式会社COSPAウエルネス ・維持管理業務（警備保安業務及び清掃業務を含む） → 関電ファシリティーズ株式会社 ・スケート管理運営業務 → 株式会社パティネレジャー 代表企業のCOSPAウエルネスを中心に、各社とも担当する業務に責任を持ち、運営を行っている。 ③休館日を活用してCPR等の安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営会議、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度の改善を実施した。 LGBTQ+や障がい者応対の研修も毎年実施している。 プライバシーマークを取得しており、高いレベルでの個人情報の取り扱いを行つてている。	A	①適切な人員配置により、適切な管理運営体制となっている。 ②共同事業体として各自で明確な役割分担を行い、管理運営を実施できている。 ③従業員の指導工場のため、様々な研修を実施することができており、従業員の資質向上を図ることができている。	A	A
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	①<株式会社COSPAウエルネス経営概要> コ・ス・パ 30店、FITBASE24 19店、30peak 1店、キュッパ2店、運営受託 12店 (令和6年度) 売上高 10,452百万円 経常利益 92百万円 <関電ファシリティーズ株式会社経営概要> 施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。 (令和6年度) 売上高 44,516百万円 経常利益 1,100百万円 <株式会社パティネレジャー経営概要> 全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。 (令和5年10月～令和6年9月) 売上高 2,977百万円 経常利益 360百万円 ②事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業 株式会社COSPAウエルネス（令和6年度実績） ・売上高：10,452百万円 ・経常利益：92百万円 ・資産合計：5,356百万円	A	①構成企業を含め運営基盤は、概ね安定していると認められる。 ②構成企業を含め財政基盤は、概ね健全であると認められる。	A	A
III 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）		A
年度評価				A			